

令和4年度放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月22日

事業所名：育ちの広場すてっぴ

保護者等数25 回収数25 割合 100%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	72%	16%	0%	12%	せまい時でも工夫されていると思う。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	92%	4%	0%	4%	職員さんによって専門性が違うところがある。
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	76%	0%	4%	20%	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されている	96%	4%	0%	0%	しっかりと子供に合った支援計画の内容でとても満足です。
	5 活動プログラム*が固定化しないよう工夫されている	88%	8%	0%	4%	子どもの様子を良く観察して下さり本人の気持ちを大切にしてくれている。
	6 小学校や支援学校の児童生徒がいっしょに活動する機会を設けている	56%	12%	0%	32%	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている	92%	8%	0%	0%	1日参観、半日参観などあればうれしい。すてっぴでの子どもの様子を見て見たいです。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	92%	8%	0%	0%	職員さんによって不安がある。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	96%	4%	0%	0%	いつもの確かなアドバイスで親も子もありがたい。本当に毎回お世話になっております。困ったことに対して親切に対応して下さり、適切なアドバイスをいただけてい
	10 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されている。また、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	76%	0%	0%	24%	
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	84%	12%	0%	4%	
	12 定期的に会報やホームページ等で、活動や業務の情報を子どもや保護者に発信している	96%	4%	0%	0%	ホームページがお知らせだけでなくブログもとても為になる事がかいてあるので勉強になります。親子で楽しみにしています！ 子供達の様子がわかり表情がとても良いので見ていて、ホッコリします。
	13 個人情報保護に十分注意している	92%	8%	0%	0%	
非常時 等の 対応	14 緊急時等の対応マニュアルを保護者に周知・説明している	88%	4%	0%	8%	内部のマニュアルまでは判らない。
	15 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	100%	0%	0%	0%	
満足度	16 子どもは通所を楽しみにしている	96%	4%	0%	0%	「いややー行きたくないー」と言う日もありますが本人の気持ち、状態にしっかり対応していただいているので結果、楽しく通所しているかと思えます。デイに行くことで本人の見通しがもてていて落ち着いて楽しみに過ごすことができているととても有難いです。

17	事業所の支援に満足している	92%	8%	0%	0%	いつも娘のことをすごく考えて下さり感謝でいっぱいです。 安心して利用しています。
----	---------------	-----	----	----	----	---

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。
※10%以上増減のあったものに赤色矢印、80%未満で改善されていないものに赤色四角印をつけました。なお設問内容を変更したものは、参考として、印の色を黄色に変えています。

令和4年度放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年3月22日

職員数：正規5非常勤7

事業所名：育ちの広場すてっぴ

回収数：正規5非常勤7

回収率：100%

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	58%	25%	17%	グループ分けをすることともに、公園遊びなど外出の活動を組み合わせて、スペース確保に務めた。	今後も外出活動との組み合わせでスペース確保に努めていく。グループワークが進められるよう必要に応じて時間や曜日の変更を提案する。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	83%	17%	0%	常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせに続けて研修を行い、専門性の向上を図った。	
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	92%	8%	0%	利用者に応じて、必要な配慮を行っている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)を、多くの職員が理解し実践している	83%	17%	0%		一人でのPDCAサイクルでは固定化されてしまう場合がある(1対1支援では特に)ので、職員間での共有が必要。
	5 アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	75%	25%	0%		アンケート内容や改善点の共有が不十分であったかもしれない。非常勤含めて共有していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の通信やホームページ等で公開している	75%	25%	0%	自己評価の結果を利用者に配布するとともに、HPに掲載している。	非常勤含めて共有していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%	0%	第三者評価を依頼している。	第三者評価の結果や改善策の共有が不十分であったかもしれない。非常勤含めて共有していく。
8 職員の資質を向上させるために、研修の機会を確保している	92%	8%	0%	常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせに続けて研修を行い、専門性の向上を図った。		
適切な支援の提供	9 子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、個別支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(検査など)を使用している	100%	0%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせで、アイデアを募った。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	17%	0%	不定期であったが、常勤職員で活動プログラムの立案会議を行った。	担当と担当月を決めて実施計画を提案する機会を作る。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	92%	8%	0%	常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせで、状況に合わせた課題設定を共有した。	
	14 子どもに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	15 職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%		
	16 職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%	常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせで、前回の振り返りを行った。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
18 定期的に事後評価を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	92%	8%	0%			
19 療育・創作・交流・余暇支援の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	92%	8%	0%			

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 利用者の関係機関の会議(サービス担当者会議など)に最もふさわしい者が参加している	83%	17%	0%		
	21 学校との情報共有、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	92%	8%	0%	必要に応じて送迎や連絡の担当職員を固定化するとともに、職員間で共有を図った。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23 就学前に利用していた事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	67%	33%	0%	今年度はその機会がなかった。	個別のケースを非常勤も含めた全職員に共有しているわけではないが、必要に応じて連携していることを共有していく。
	24 卒業後に利用している障害福祉サービス事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%	0%	卒業先の事業所の職員が来られ、情報共有と相互理解を図った。	個別のケースを非常勤も含めた全職員に共有しているわけではないが、必要に応じて連携していることを共有していく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関の助言や研修を受けている	75%	25%	0%	常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせで、研修に参加した職員からの情報共有を行った。	
	26 小学校や支援学校の児童生徒がいっしょに活動する機会を設けている	92%	0%	8%	発達に合わせたグループングを行っているとともに、一緒に活動できるよう遊びの設定を工夫している。	当事業所外の子ども(公園に遊びに来ている地域の子ら)と交流する機会は狙っては作れないが、その機会があれば一緒に遊べるように支援する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している					
	28 日常的に保護者と子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている	92%	8%	0%		
29 子育て支援として、保護者に対して助言・指導(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75%	25%	0%		必要に応じて保護者への助言・指導を行っている。ペアレント・トレーニングについては実現可能か検討を続ける。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%	17%	0%	契約時に説明するとともに、問い合わせがあれば質問に答えている。	個別のケースを非常勤も含めた全職員に共有しているわけではないが、必要に応じて説明していることを共有していく。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	83%	17%	0%	相談は随時受け付けており、必要に応じて電話や面談で支援を行っている。	個別のケースを非常勤も含めた全職員に共有しているわけではないが、必要に応じて支援していることを共有していく。
	32 子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応している	92%	8%	0%		
	33 定期的に通信等を発行し、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	92%	8%	0%	毎月通信を発行しているとともに、HPで記事を発信している。	
	34 個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	35 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	36 地域住民と関わったり周辺施設を利用したりと、地域に関わられた事業運営を図っている	58%	42%	0%	地域施設での買い物活動や、地域施設への避難訓練を行った。	左記の活動を続けていくとともに、地域施設で住民に関われる機会を模索していく。
非常時等の対応	37 緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	92%	8%	0%		
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	92%	8%	0%	毎年2回実施している。	
	39 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	17%	0%		
	40 身体拘束について、保護者に事前に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	100%	0%	0%	該当児がいるため、支援計画に記載するとともに、常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせで共有した。	

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
41	利用者の食物アレルギーについて、該当者が周知され、医師の指示書に基づく対応がとられている	83%	17%	0%	該当児はいなかった。該当児がいる場合のマニュアルを作成している。	該当児がいる場合は全職員で共有し対応していくことを、マニュアル等で確認する。
42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%		

※ 10%以上増減のあったものに赤色矢印、80%未満で改善されていないものに赤色四角印をつけました。なお設問内容を変更したものについては、参考として、印の色を黄色に変えています。